

はくぶつかんネット第60号

第26回ぎのわんの文化財図画作品展

表彰式



受賞おめでとうございます

冬の訪れが感じられるようになった今日この頃、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、当館では10月29日(日)から11月12日(日)まで、第26回ぎのわんの文化財作品展を開催しました。市内の小学校3年生から中学校3年生を対象に、宜野湾市の文化財に親しみを持ってもらおうと毎年文化財図画作品展を開催し、今年で26回を数えます。

台風の影響で延期になった表彰式は11月3日(金)に博物館ロビーで行われ、小学校中学年(3・4年生)の部、小学校高学年(5・6年)の部、中学校の部とそれぞれの部門ごとに教育長賞、金賞、銀賞、銅賞に選ばれた受賞者のみなさん及び多くの関係者でにぎわいました。

表彰式の様子

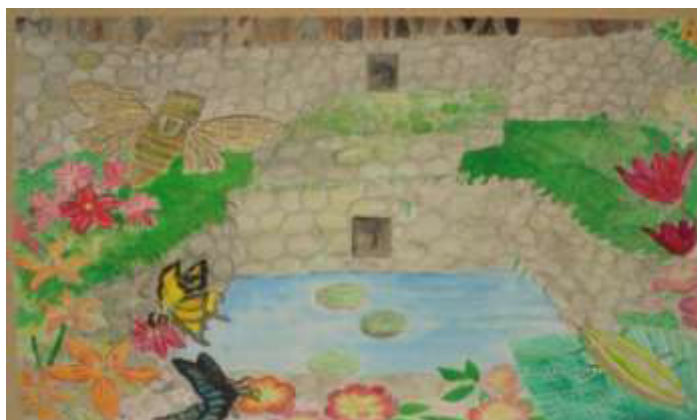


桃原 忍子

教育部次長の挨拶



教育長賞のご紹介



小学校中学年の部 川満 笑生 (普天間第二小学校)



中学校の部 新城 百花 (宜野湾中学校)



小学校高学年の部 折田 悠世
(はごろも小学校)

ことしも大作
ぞろいじゃ



毎年恒例の市内小中学生による「ぎのわんの文化財作品展」ですが、今年度は小学校119点、中学校90点、計209点の出展がありました。多数のご応募ありがとうございました。



来年も多くのご応募お待ちしております





秋の企画展



宜野湾探訪！～新たな宜野湾、発見～

9月6日（水）～10月15日（日）の期間で秋の企画展『宜野湾探訪！～新たな宜野湾、発見～』を開催しました。

当博物館は4月に常設展示室をリニューアルオープンいたしました。

今回の企画展は、その常設展と連動させながら沖縄貝塚時代から琉球王国時代を範囲とした発掘調査資料や宜野湾にゆかりのある資料を紹介しました。

また、企画展関連として市民講座を開講し、市内外から多くの皆さんが熱心に受講され、好評のうちに終了しました。



王冠



かんざし

（宜野湾市大山貝塚）



木製容器



くし（北谷町
伊礼原遺跡）



普天満宮に残るお参りの跡



松らい碑の拓本

各市民講座の様子



↑9月10日（日）『旧石器人とその文化を探る』

講師：山崎 真治（沖縄県立博物館学芸員）



↑10月22日（日）『考古学から見た宜野湾』

講師：池田 榮史（琉球大学教授）

11月5日（日）『琉球王国と宜野湾』→

講師：麻生 伸一

（沖縄県立芸術大学講師）



市史だより がちまやあ Gači-majaa



〈普天間山神宮寺 1930（昭和5）年頃〉

今回、宜野湾に初めて小学校が設立された頃の様子や明治・大正・昭和の戦時体制のころの学校の様子について紹介します。

1881（明治14）年に宜野湾間切普天間の神宮寺を借り受け、「中頭小学校」が設立されたんじゃないよ



中頭小学校の設立

琉球王国時代には、各間切の仕事をする^{ちかた}地方役人が^{ちかた}地方役人を教育する機関として、「筆算稽古所」が各間切毎にあり、読み書き・算術・作文・習字の4科目が教えられていました。そのころ、首里・那覇・泊では、初等教育機関としての村学校が次第にできてきましたが、宜野湾には、まだ教育機関はできていませんでした。

1880（明治13）年6月に沖縄庁内に沖縄師範学校が設置されました。その学習は小学校教員養成のための速成教育でした。使用された教科書は「小学読本」「算術」「沖縄対話」などでした。沖縄師範学校ができて、1880年に県内に14校の小学校ができました。1881（明治14）年に宜野湾普天間の神宮寺を借り受け中頭小学校ができました。

生徒は中頭郡の11間切から募集したんじゃない。14～15以上24～25歳以下の者21名で生徒たちは出身間切から月手当金3円ずつをもらい普天間付近の民家に寄宿したんじゃない！



開校からわずか8か月後の11月に県の偉い方が巡視の為、中頭小学校に立ち寄ると「日本史略」「地誌略」を学ぶ者ありで『開校日浅いといえども進歩著しく賞すべし』と高く評価されたそうじゃ

宜野湾小学校を卒業してからも、勉強して世の中の為につくした人たちがいました。
「国吉真現」「桃原茂太」「佐喜真興英」



【沖縄対話とは】

標準語の読み書きができる教員を養成するために、教科書として使われた会話読本のこと。

最初の授業は、先生と生徒の間で互いに言葉が通じなくて、とても困ったそうなんだ！！



宜野湾小学校の設立

せっかく、設立した「中頭小学校」でしたが1882年までには、ほとんどの間切りに小学校が誕生し、全県に52校が置かれた。これに伴い1年後の1882（明治15）年3月に中頭小学校は廃校になりました。

同年、宜野湾間切で宜野湾同村の宜野湾の馬場の東に宜野湾小学校が設立されました。



沖縄研究につくした



佐喜真 興英

宜野湾市新城出身
東京帝国大学法学部を卒業後、裁判所に勤務しながら、民俗・民族学の研究を行いました。

偉大な政治家



桃原 茂太

宜野湾市大謝名出身
旧制東京帝国大学法学部卒業後、1934年沖縄に戻り弁護士を開業、戦後は宜野湾村の村政復興に尽力。1949年琉球海運株式会社を創立し、社長に就任。宜野湾出身の初の国會議員。

悪い習慣を変えた
司法官

国吉 真現

宜野湾市宜野湾出身
東京帝国大学卒業後、司法官（検事・判事）として活躍

昔の人はとても苦
労して勉強したん
だよ



宜野湾小学校の明治・大正・昭和の頃学校生活の様子

校舎の様子

屋根は全部瓦葺きで、校舎は木造平屋で2棟ありました。校長住宅もありましたよ。

欠席したら、1銭ずつ罰金を課していく厳しい先生もいたよ

弁当は、皮付きのイモ2個ずつ古い手ぬぐいに包んで持って行ったものです。

鉛筆・ノートの代わりに石版と石筆を使っていたのよ。

断髪令

断髪令が出たんじゃが髪を切る切らないでストライキがあったんじゃ。



『創立百周年記念誌 宜野湾小学校』より

尚貞王の世子尚純の命によって植えつけられたと伝えられている松並木だよ

こんな感じだったんだよ



〈宜野湾並松と一の鳥居〉

松並木のあった位置のわかるジオラマが博物館に展示されているよ

修学旅行



戦前の修学旅行は尋常科六年生は島尻一周で糸満に泊り、翌日は汽車利用かあるいは徒歩で那覇に来て県庁や新聞社等を見学して汽車で帰りました。当時の生徒は耐久力が強く、落第する者はいなく、皆元気でした。

この頃は学校敷地内に運動場はなくて、学校の門の前はちょうど宜野湾街道になっていて西の方に宜野湾馬場があり、そこが運動場になっておりました。そこで遊戯や体操・騎馬合戦や二人三脚・めくら鬼とかやったんじゃ。



宜野湾小学校は120年の間に8回も学校名が変わっているんじゃ



その中でも戦争の影響の少ない大正までが右の表じゃ

僕の小学校って、こんなに名前が変わってきたんだね



宜野湾小学校の学校名のうつり変わり1

時代	年号(和暦)	学校名
明治	1881(明治14)年	中頭小学校ができる
	1882(明治15)年	中頭小学校廃校となる(3月) 宜野湾小学校設立(4月)
	1888(明治21)年	宜野湾尋常小学校と名を変える
	1902(明治35)年	中頭高等小学校ができる 宜野湾尋常高等小学校と校名を変える
大正		

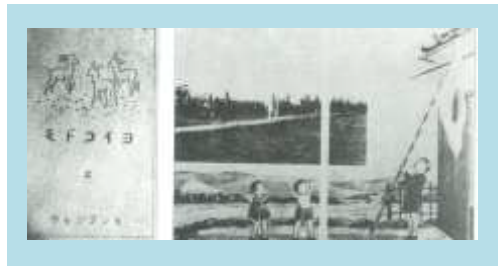


宜野湾尋常小学校 1900(明治33)年

当時の教育は沖縄的なものを徹底的にやめて「忠君愛国の臣民を育てることに熱心になるべし」でした。

戦時体制のころの学校のように

1941(昭和16)年に法律によって宜野湾尋常小学校は「宜野湾国民学校」に名が変更しました。その大きな理由は、戦時下で教育の目的、内容、方法が皇民化教育としての大改革によって、これまでの学校の有り方が大きく変わってきたからです。その教育内容は、4つで編成されていました。国民科・理数科・体鍛科・芸能科でした。



↑ 昭和16年国民学校教科書
(国家主義教材で編集されている)

皇民化教育ってなんだろう？



天皇制のために一身をささげるための教育を日常的にすすめることだよ

戦争の足音が近づいているわ



学童疎開

安全地帯に子ども、老人、女性を疎開させることが決まりました。



宜野湾国民学校から50名あまりの児童生徒が1944(昭和19)年8月28日に軍の貨物船「伏見丸」で宮崎に集団疎開しました。

宜野湾国民学校に戦車隊が駐屯したのは、1944(昭和19)年7月10日前後でした。一般の人たちにとってそれまで平和な生活が続いていました。また学校生活でも軍事訓練や避難訓練が多くなってきましたが、これまでどおり平和でした。しかし、いきなり軍隊がきたことにより、生活は急に変化し始めました。学校や各集落の大きな家は軍隊に取り上げられ、家主はすみで小さくなっていました。

戦争の影響を受けながら1941年以降、4回も名が変わったんじゃ

ひどいのはなしだ



宜野湾小学校の学校名のうつり変わり

時代	年号(和暦)	学校名
昭和	1941(昭和16)年	宜野湾国民学校と名を変える
	1945(昭和20)年	野嵩初等学校ができる
	1946(昭和21)年	野嵩北初等学校ができる 野嵩西初等学校ができる 野嵩南初等学校と名前を変える
	1948(昭和23)年	野嵩北初等学校が普天間校区 野嵩西初等学校が大山校区 野嵩南初等学校が 宜野湾校区となる
	1948(昭和23)年	宜野湾初等学校となる
	1951(昭和26)年	宜野湾小学校となる

学校にも戦車隊の一般兵が寝泊まりして、宜野湾馬場は完全に軍事訓練の場となりました。学校を奪われた児童生徒は各自の腰かけをもって各ムラヤーで勉強することになりました。しかし、授業ではなく防空壕掘りや飛行場づくりの毎日でした。

校舎がみんな兵舎になってしまい、学校では勉強できなくて、松林に黒板をかついでいったよ



雨が降ると松林では勉強できないので製糖期だけしか使わないサーターヤーを利用していたんですよ



校舎の前には20人くらいは入る校舎防空壕が掘られ、時々サイレンの音を合図に防空演習が行われたんじゃ



参考文献『わたしたちの宜野湾小学校 創立120周年記念副読本』・『創立90周年記念誌九十年のあゆみ』・『創立百周年記念誌 宜野湾市立小学校』・『宜野湾市史 第一巻 通史編』

次号の「がちまやあ」は、終戦直後の学校「野嵩初等学校時代～宜野湾小学校時代」を紹介します！！

職場体験・教職10年目研修・学芸員実習

今年度も、職場体験や教職10年目研修、学芸員実習の受け入れを行いました。一人ずつ感想を頂きましたのでご紹介いたします！

教職10年目研修

宜野湾市立博物館では2日間の短い期間でしたが、セミの抜け殻標本作り、西普天間地区の発掘調査など学校現場では経験できない仕事をさせていただきました。そのなかで、博物館の仕事は調査・発掘だけでなく、企画展の計画からポスター作製、先方とのやり取りから調査資料の整理など多岐にわたることが分かり、そのような多忙な中で私の10年研修者研修にお時間を割いていただき、千木良館長や担当して頂いた平敷さんをはじめ職員の皆様に感謝申し上げます。また、勤務する皆様が宜野湾市立博物館を盛り上げたいという情熱が伝わり、学校現場に勤務する私としましても、魅力あるこの施設と連携・活用させて頂き、生徒が実物に触れるなど実りある学習ができる方法を検討していきたいと考えております。この二日間の体験を今後の教職生活に活かして、宜野湾市の未来を担う子供たちを指導していきたいと思います。本当にありがとうございました。

嘉数中学校 教諭 仲松 俊郎

職場体験(中学生)

2日間だけでしたが、貴重な体験をさせていただき、色々な事を学ぶことができました。説明以外にも外に出て動いたり、規格を練ったり会議をしたりと短い間で忙しい一面がみえたと思います。他の市町村と連携を取って企画展を開く、ということを知り博物館は色々な場所とつながっているのだ、と初めて知りました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

宜野湾中学校 金城 理子

2日間という短い間でしたが、貴重な体験をありがとうございました。一般の人には入れない収蔵庫や倉庫など、「職場体験とはいえ、こんな所を見せて大丈夫なのか！」と思いました。倉庫などに入っていた道具の説明や展示室の配置の説明など、わかりやすく説明してくれてありがとうございました。保育園児とかたくさんの方々が来たときの対応とか、やっちゃいけないことの注意とかをいつもするのは大変だなと思いました。2日目の午後にあった倉庫の片付けは、定期的にあるそうで、毎回あんな荷物を片付けるので、大変だなと思いました。子供の接客や力仕事など大変なことを体験して良かったなと思いました。2日間ありがとうございました。

宜野湾中学校 瀬名波 征

今回の職場体験では、お忙しい中、私のために時間を割いて頂き、ありがとうございます。わらば～体験じゅくの会場設営は、やり切った時の達成感がありました。自分の参加していたものが、裏でこんな苦勞をしながら運営されていたものなんだ、と気付かされました。普天間小学校の団体見学では、少し緊張したけど、誰かに「ありがとう」の一言をもらえるだけで、こんなにうれしいんだと勉強になりました。

那覇中学校 平敷 尚華

学芸員実習

博物館では、主に館内業務が多いイメージでしたが、教育普及がメインの宜野湾市立博物館の実習では、館外での業務が多くてとても大変でした。でも、わらば～体験じゅくやこども博物館教室で子どもたちが実際に体験することによって展示資料からは学べないことがたくさんあるのだと知り、私も今回の実習ですごく貴重な経験ができました。

沖縄国際大学 比嘉 みすず



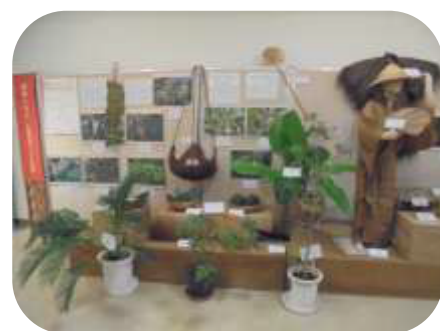
普段からよく来ている宜野湾市立博物館で、学芸員実習を行うことができたこと、様々な体験をさせてもらったことに感謝します。わらば～体験じゅくや、こども博物館教室では、私自身も楽しく学べました。博物館業務の一つとして役場にある文化課の方へ行き、資料の運び出しの作業もしました。初めてすることが多かったので、精神的にも成長できた部分が大きかったです。

沖縄県立芸術大学 仲里 美香

ぎのわん教育の日関連企画展 琉球の植物展

11月25日(土)～12月17日(日)まで『琉球の植物展』を開催しました。

当企画展では、琉球列島の亜熱帯を中心にそこに生きる植物、植物とヒトのかかわりを紹介しました。期間中には〇〇〇人のお客様が足を運んで頂きました。多くのご来館ありがとうございました。



【地域との連携企画展】

次回企画展予告

ぎのわんの字展～野嵩編～ H30年1月24日(水)～3月4日(日)

宜野湾市内の地域の一つを取り上げ、紹介する「ぎのわんの“字”展」。第10回目となる今回は、野嵩区に焦点を当て、企画展を開催致します。野嵩の歴史や文化財の解説、民具の展示を予定しています。みなさまのご来館を心よりお待ちしております！

祝

「はくぶつかんネット60号を迎えました！」



「はくぶつかんネット」は、年に3回発行している宜野湾市立博物館の情報誌です。2000年(平成12年)11月発行の初号から本号で60号を迎えられたのも、博物館にご来館いただいたり、支えてくれる皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございます。これからも、継続して「はくぶつかんネット」を発行し、博物館で開催する企画展の紹介や様々な情報を皆様にお届けしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

Information !

宜野湾市立博物館

■入館料：無料

■開館時間：9～17時(入館は16:30まで)

■休館日：毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

祝日(慰霊の日、文化の日は除く)

※休館日に祝祭日が重なる場合は、翌日も休館になります。

その他、臨時休館になる場合もございます。

お問い合わせ

〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1

TEL: 870-9317 FAX: 870-9316



宜野湾市立博物館

検索

ホームページもチェックしてね！

